



プレスリリース

健康マイレージ事業のデジタル化により、地域内の経済循環システムを確立！ スタートから半年で市民の3%が登録！すでに利用者3,000人を突破し急増中

泉佐野市（市長：千代松 大耕）では、従来紙で行っていた健康マイレージ事業について、「だれでも」「身近な場所で」「手軽に」「楽しく」健康づくりを続けられることを目指し、2024年1月より、株式会社アールビーズ（東京都渋谷区、代表取締役社長：黒崎悠）のスマートフォンアプリ「スポーツタウン WALKER」を活用した事業「愛称：さのぼっ歩（さのぼっぽ）」として再スタートしました。アプリでは毎日の歩数や距離が自動的に計測され、また体重を入力することでBMI管理もでき、毎日の健康づくり活動が数値として見える化されるようになりました。また、市内/府内/全国での歩数ランキングの表示や、泉佐野市のご当地キャラクター「イヌナキン」が歩数に応じて成長していく機能も装備し、市民に愛着をもって使っていただき、「楽しく」ウォーキングを続けていただく工夫も凝らしました。



地域通貨「さのぼ」への交換までがアプリで簡単にできるようになり、アプリ利用者数は全国3位に

最大の特徴として、①歩く、②健(検)診を受診する、③健康イベントに参加する、といった健康づくり活動で「さの健康ポイント」がたまり、それを地域通貨「さのぼ」に、1さの健康ポイント→1さのぼ(=1円)として、アプリから簡単に交換できるようにした点が挙げられます。健康づくり活動でたまった「さの健康ポイント」が、市民にとって身近な地域通貨「さのぼ」として地元のお店で使えるようになったことで利便性が大きく向上した結果、利用者数も急増し、利用開始からわずか3ヵ月の4月中旬には、当初の目標である2,400人を突破しました。このアプリは日本全国の自治体で導入されていますが、2023年11月時点では利用者数が108人で全1,739自治体中350位だったものの、スタートから半年で市民の3%が登録し、現時点(8/7時点)では3,588人で全国3位と、主要な政令指定都市に並ぶ利用者数まで急増しています。

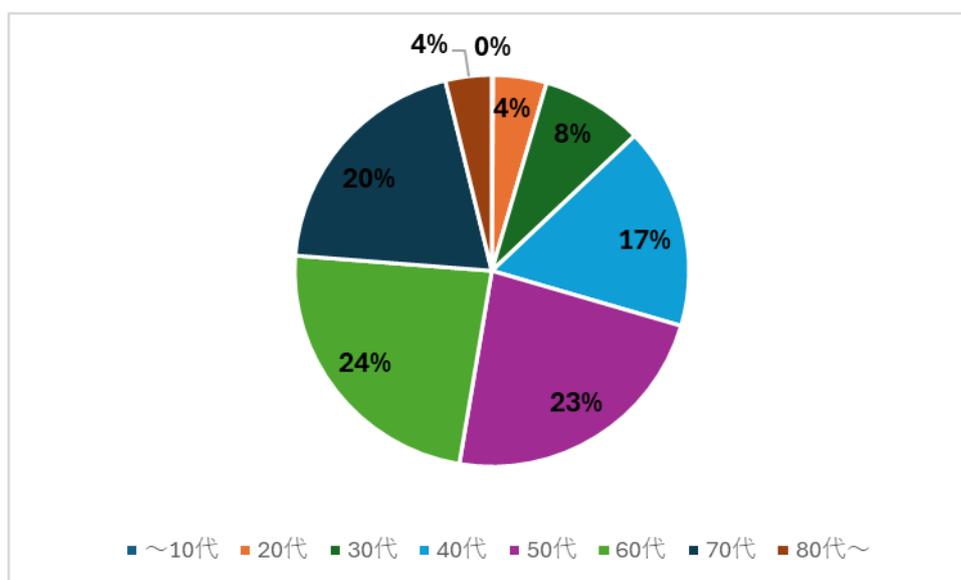
<市区町村別アプリ利用者数トップ10>

| 順位 | 市区町村 | 利用者数 |
|----|-------|-------|
| 1 | 横浜市 | 6,626 |
| 2 | 大阪市 | 3,793 |
| 3 | 泉佐野市 | 3,588 |
| 4 | 福井市 | 3,440 |
| 5 | 川崎市 | 3,234 |
| 6 | 岐阜市 | 2,754 |
| 7 | 神戸市 | 2,696 |
| 8 | さいたま市 | 2,620 |
| 9 | 札幌市 | 2,596 |
| 10 | 名古屋市 | 2,340 |

さらに、健康づくり活動でたまったポイントを地域通貨「さのぼ」として市内のお店で使うことにより、地域経済の活性化にもつながるとともに、ポイントの市外への流出を防ぎ、ポイントが地域内に循環するシステムを確立したことは全国的にも珍しい事例です。

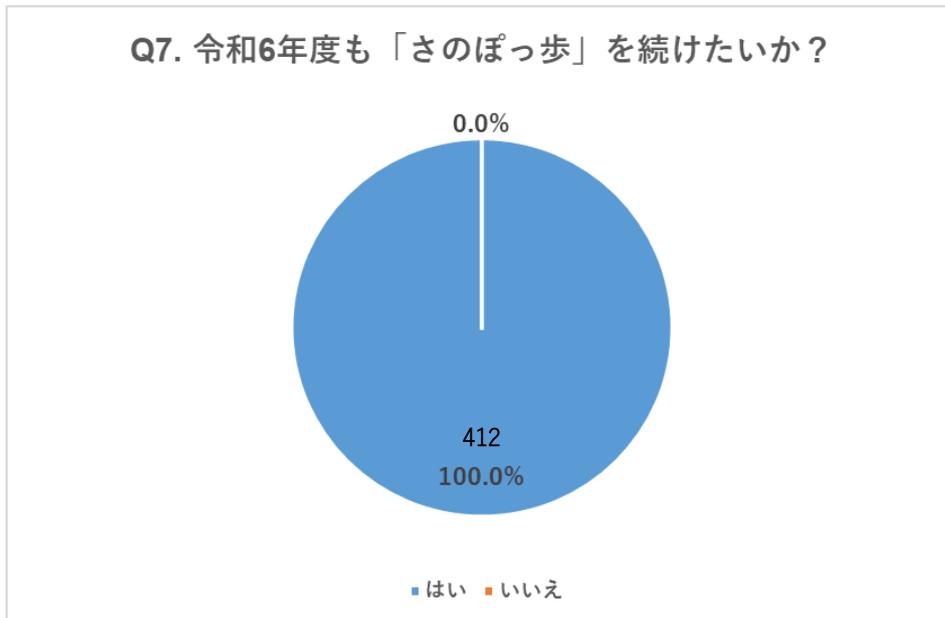
また、市民説明会をこまめに開催し、市職員がアプリ導入を手厚くサポートした結果、一般的にはスマートフォンに不慣れな60代以上が全利用者の半数を占めるというのも特徴的と言えます。

<泉佐野市アプリ利用者の年代別分布>

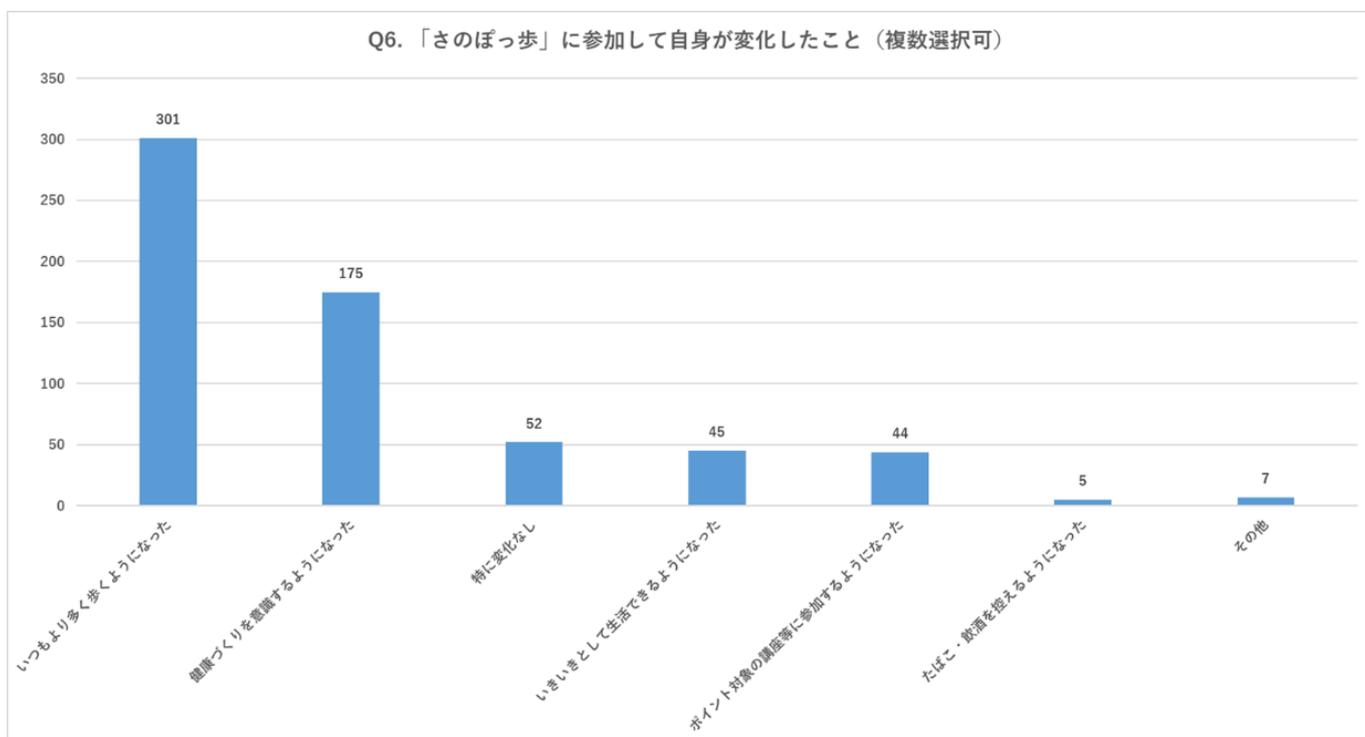


市民アンケートでは、回答者の全員が令和6年度も続けたいと回答

5月に利用者の方にアンケートを行ったところ、回答者の412名全員（回答率15%）が令和6年度も続けたいと回答しました。



参加して自身が変化したこととして、「いつもより多く歩くようになった」「健康づくりを意識するようになった」が多く、さのぼっ歩への参加が健康面でも効果を出していると言えます。また、「数値に現れたり、記録が残るので、自然にやりがいを感じるようになった」「血压、体重を毎日測るようになった」という意見もありました。



最後に聞いた自由意見は全般的にポジティブな回答で、

- 「こういうことをやってもらえると毎日歩くのに意味があるように思えるので、できるだけ長くしてほしい」
- 「続けることに意義があると思います。数字として残るので毎日の励みになります。」
- 「これからもずっと続けてください。膝の人工関節置換手術を受けて歩くことが苦手でしたが、さのぼっ歩を始めてから意欲的に歩くようになりました。」
- 「さのぼっ歩のおかげで、今まで話したことのない方たちとも話すことが出来たり、アプリを通してイベントに参加させて頂き楽しんでいます。他の市の方にも羨ましがられています。」

といった声もありました。

8/1からは、会社員の方など、泉佐野市以外の医療機関で健(検)診を受診した場合でも、ポイント付与申請ができるようになっていきます。今後、泉佐野市では、働き盛り世代や健康無関心層に対する訴求を行い、泉佐野市民全体の健康増進、健康寿命延伸をさらに進めていきたいと考えております。

■ご参考：市民アンケート概要

| | |
|------|-----------------------|
| 調査対象 | 「さのぼっ歩」利用者 |
| 調査期間 | 令和6年5月9日～5月16日 |
| 調査方法 | Web上のアンケートフォームにより回答収集 |
| 回答数 | 412 |

以上

連絡先 泉佐野市健康福祉部健康推進課

担当者 佐藤、赤坂

電話 072-463-1212

ファックス 072-461-4751

Email hoken-c@city.izumisano.lg.jp